

# 一般質問



## 仙北市の行政運営について 仙北市の入札契約について 企業誘致と仙北市の対応について 高久 昭二

**仙北市の行政運営について**

**質問** 仙北市では八月から市税徴収嘱託員制度を導入し二名の嘱託員が配置され、職員と二名一組で臨戸徴収も実施していると聞いています。

**市長** 滞納している方々はほとんどの人が納めたたくても納められないのが現状であり、引け目を感じていると思われる。徴収する方は、滞納者に追いつきかけるといって、言動に気をつけ誤解や不快感を生まないよう極力注意しなければならぬと思うがどうか。

**市長** 納税者の事情で期限までに納めることができない場合、納めやすい条件をお互いに納得した中で納めていただくよう心しているつもりである。

個々に言葉の受け取り方により不快感を受けた方がいたとすれば改めていかなければならない。

**質問** 市民の方で会社を退職したため社会保険を脱退し、二週間後に仕事をみつけ再び社会保険に加入したが、十六万円の国保税納付書が送付されてきた。間違いではないかと納得できる回答を求めたところ、本課税務課が田沢

湖本庁舎にあるため、正式な決定文書が本人に来るまで二ヶ月もかかっている。

**市長** このような市民の問い合わせ等によるような改善策を考えているのか。

**市長** 市役所の判断で回答が出来る場合と、外部機関、県との協議で回答しなければならぬケースもある。

今後長い時間回答のないまま放置することのないよう指導する。

**仙北市の入札契約について**

**質問** 都市計画道路、岩瀬北野線、市道大町通線の交差点改良工事に中古のコンクリート製品が使用されているように思える。埋設部分を含め中間検査を実施しているのか。

**市長** 中古品を使用することは契約上ありえない。工事区分以外ではないかと思う。

**質問** 汚泥再処理センター建設で公募型プロポーザル方式を決定したのは、県の指導か。

また、同方式の場合原則としてヒアリングを実施することになっているがその形跡はない。

さらに技術提案書提出締切まで二週間しかなく諸般の事情があるにせよ、あまりにも性急ではないか。

**市長** 上部期間から公募型が望ましいという絞った指導ではない。市の考え方として選んだ方式である。

技術提案まで二週間が短い期間とは判断してない。

**質問** 技術提案書審査項目中、地元下請け業者採用について提案しているがどのように対応しているのか。

**市長** 受注業者から当地は積雪地帯であることから現地施工ノウハウのある地元業者の協力が不可欠であり、市内業者を最優先する。

資材及び人材活用も地元を優先するとの提案されている。

**企業誘致と仙北市の対応について**

**質問** 企業立地促進法があるにもかかわらず同説明会を欠席、活用アンケート調査にも活用意向はないとの返事をしたのはどのような理由、判断なのか。



開通になった岩瀬北野線

**市長** 市として呼びかけがあったことは当然承知している。県とのやり取りもしているが電子関係、輸送機関係であれば現在基盤を持った地域が結束して力をつける趣旨を理解し、仙北市の場合それだけの準備が今のところ整っていないことから積極的な意思表示をしなかった。

しかし、この電子関係、輸送機関係について、来年度になるが市も条件整備を加えてもらいたいという交渉はすでに始めている。